

若者と難民について考える

今、世界で起きている事に私たちはどう向き合うのか
～ウクライナ、アフガニスタン、ミャンマーから見える日本～



参加費無料

2022年2月24日、ロシア軍によるウクライナへの軍事進攻により、多くのウクライナ市民が隣国などへ避難しました。日本に避難されてきたウクライナ「避難民」に対して、日本政府は身元引受人がなくとも短期滞在を許可し、就労可能な特例措置などの支援策を表明しました。

一方、2021年のミャンマーでの軍事クーデターやアフガニスタンでの政変でも多くの市民が危機的状況にありますが、ウクライナのような特例措置や民間の動きはほとんどありません。今、世界で起きているウクライナやミアフガニスタン、ミャンマーをとおして、難民認定、出入国管理、多文化共生など、私たちの足元の問題に対してどう向き合うべきか、若者とともに考えます。

第1回 「難民、避難民に対して市民・NGOは何ができるのか」

講師: **折居徳正さん** パスウェイズ・ジャパン代表理事

田中恵子さん RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク)共同代表

難民、避難民の受け入れや難民認定の支援活動に従事してきたNGOの視点で私たち市民に何ができて、何ができないのかを考えます。

日時: **2022年8月7日(日) 10:00～12:00**

開催方式: 対面(こうべまちづくり会館)およびオンライン開催

*会場案内図
は裏面

第2回 「日本における難民の保護は適正か ～ウクライナ、アフガニスタン、ミャンマーから見える日本の保護のあり方」

講師: **渡邊彰悟さん** 全国難民弁護団連絡会議代表(弁護士)

これまで日本は、難民に対してどのような対応を行ってきたのか、ウクライナ侵攻以前と比較して考えます。

日時: **2022年9月16日(金) 18:00～20:00**

開催方式: オンライン開催

主催 CODE海外災害援助市民センター、CODE未来基金

共催 近畿労働金庫、関西NGO協議会



後援 神戸新聞社、生活協同組合コープこうべ

講師プロフィール

第1回

折居徳正さん パスウェイズ・ジャパン代表理事

2002年よりNGO職員としてアフガニスタン、イラン、パレスチナ、シリア、ミャンマー、インドネシア等での人道危機、自然災害支援に従事。2016年より難民支援協会にてシリアの若者を留学生として受け入れ。2021年7月、パスウェイズ・ジャパンの設立に携わり、代表理事に就任。以後アフガニスタン、ウクライナからの難民の受け入れにも従事。国際政治学修士。



第1回

田中恵子さん RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク) 共同代表

2002年より西日本入国管理センター(2015年廃止)に收容されている難民への面会を開始。現在も、大阪出入国在留管理局に收容されている難民の面会を続けている。2002年8月RAFIQ結成。主に関西在住の難民への様々な支援を行っている。



第2回

渡邊彰悟さん 全国難民弁護団連絡会議代表(弁護士)

弁護士として30年におよび難民問題に携わっている。編著に「日本の難民実務の現状」、「難民と人権」、「日本における難民訴訟の発展と現在」などがある。日本弁護士連合会人権擁護委員、在日ビルマ人難民申請弁護団代表、法務省難民認定制度に関する専門部会委員、全国難民弁護団連絡会議代表など。



【第1回会場】
こうべまち
づくり会館
神戸市中央区
元町通4-2-14



【アクセス】 元町駅 (JR・阪神) 西口から西へ10分
花隈駅 (神戸高速) 東口から南へ3分
西元町駅 (神戸高速) 東口から東へ5分

主催・共催団体のご紹介



近畿労働金庫

労働組合や生活協同組合の働く仲間が、お互いに助け合うために資金を出し合って作った非営利・協同組織の〈福祉金融機関〉です。



関西NGO協議会

主に関西に活動拠点をおくNGOが全国・世界のNGO/CSO同士のネットワークを形成し連帯を促進することで、それぞれの活動をより充実・発展させることを目的としたネットワーク型の国際協力NGOです。

CODE 海外災害援助市民センター

1995年の阪神・淡路大震災の時に世界から支援をいただいた恩返しに「困ったときはお互いさま」の精神で設立され、アジア・中南米を中心とした災害被災地で住宅再建や雇用創出などの復興支援を行っています。

CODE 未来基金

次世代のNGOを担う若者を応援する基金です。これまでにフィリピン、ネパール、中国の被災地で若者たちが自らフィールドワークを企画・実施しました。現在は兵庫県丹波市での農業研修やコロナ困窮者への支援を行っています。

お申込み

URL/QRコードの申込みフォーム、または下記の「お問い合わせ」よりお申込みください。オンライン参加の場合は、お申込みのメールアドレスに後日ZoomのURLをお送りいたします。 <https://forms.gle/GBjTNy5jPm2ku2wU7>

お問い合わせ

CODE海外災害援助市民センター
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10
TEL:078-578-7744 FAX:078-574-0702
Email: info@code-jp.org

